



## 隠れていたやさしさ

大阪府立淀商業高等学校 1年

すずき ねねか  
鈴木 寧々花

私が調査した場所は三つあります。

まず一つ目は、大阪市都島区役所です。まず気になったのは大きなスロープに手すりがついているところでした。ちょうど私がこのスロープを見つけた時は、車いすの方やベビーカーに乗っている小さな子どもがいました。このスロープを使うことで移動を容易にできるのだと思いました（写真1）。次に注目したのは低い位置に設置されたインターホンです。このインターホンのおかげでどんな身長の人でも押すことができるようになっていました（写真2）。

二つ目は、大阪市都島区役所の隣にある都島区民センターです。本当は区役所と、この後紹介するスーパーを見に来たつもりでしたが、興味本位で区民センターに入ってみるとたくさんの優しさがありました。一つ目は、この区民センターは目が不自由な方や耳が不自由な方が補助犬と一緒に入ることができることです。このマークがあることで目や耳が不自由な方は安心できると思いました（写真3）。そして、区民センターの中に入ってみると自動販売機がありました（写真4）。その自動販売機をよく見ると、下にボタンが並んでいたり、おつりの位置が

低くなっていました。私自身、このタイプの自動販売機は初めて見たのですが、使いやすそうだなと感心しました。この区民センターには沢山のやさしさがあるのだと気づき、さらにトイレも見てみました。そしたらなんと、鏡が斜めになっていました。私は、なぜ鏡が斜めになっているのかなと考えました。しばらくして、私は小さな子どもでも見えるということに気づきました（写真5）。

そして最後はスーパーです。前に母と一緒にスーパーに買い物に行った時に、スーパーの食品などが置いてある棚の横に鏡がついていることに疑問を持っていました（写真6）。家に帰ってなぜ鏡がついているのかを調べてみると、物を多く見せるという効果で使っていたそうです。しかし私は、車いすの方や小さな子どもでも上の段にある食品が見える効果にもなるのではないかと思いました。

これからも、もっと街に潜んでいる優しさを見つけて、それを知識に変えていきたいなと思いました。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6